



「山岳・里山アクティビティ」の拠点となる 県立秦野戸川公園のさらなる整備を

自民党秦野 相原 學

一 産業利用促進ゾーンと周辺の整備について

問 県立秦野戸川公園については、新東名高速道路の開通も迫る中、本市としても県と積極的に連携し、さらなる整備促進に取り組むべきと考えるが、現状と今後の見通しはどのようか。

答 本市域の丹沢エリア最大の拠点施設であるため、表丹沢魅力づくり構想で山岳・里山アクティビティの活動拠点と位置付け、公園、周辺道路の基盤を含め、県と検討を重ねている。今後も市内で連携し、さらなる魅力向上につながる未整備区域を活用した公園整備の早期実現に向けて、県と積極的に関わっていききたい。

問 戸川土地区画整理事業について、竹中土木、エム・ケー共同企業が業務代行予定者として決定したが、今後の戸川土地区画整理準備組合との連携や、進め方はどのようにか。



産業利用促進ゾーン周辺の様子

公共交通事業者との連携で 本市の魅力創出を

創 和会 福森 真司

一 名水はだの富士見の湯熱湯管の改修及び施設維持における技術職員の関わりについて

問 市民の貴重な財産である施設を安全、安定的に運営するための適切な維持管理と設備保全に係る人材育成について、考えはどうか。

答 日常点検や保守業務など日々の点検などを強化し、不具合の早期発見に努める。また、施設の老朽化が進む中、業務も多様化し増加している。技術職員の事務量などを十分に把握し、市内関係部署と連携し総合的に判断して人材育成に取り組みたいと考える。

要望 市民が施設を安全に、安心して

答 準備組合では、全権利者を対象に説明会を開催する予定で、業務代行予定者が今後の事業の進め方を説明する。引き続き、準備組合や業務代行予定者と連携し、合意形成に向けた支援に取り組む。

要望 準備組合において業務代行予定者が決定され、組合の設立に向け、さらなる推進が図られると考える。本市においても、引き続き準備組合を支援し、産業利用促進ゾーンの実現に向けて取り組んでほしい。



秦野モデルの地域包括ケアシステムの構築と 带状疱疹ワクチンの助成を求める

公明党 中村 英仁

一 地域包括ケアシステムについて

問 令和22年に85歳以上の高齢者が1千万人を超えるといわれる中、地域包括ケアシステムの秦野モデルの構築が大事だと考えるが、本市の地域包括ケアシステムの方向性は、どのようか。

答 重点施策の方向性として、① 最期まで在宅医療を継続できるように連携を強化する「在宅医療の充実と医療と介護の連携強化」、② 在宅生活を支えるための生活支援サービスや支え合い活動を増やしていく「生活支援の充実」、③ 本人や家族の気持ちを受け止め、適切な支援につなげられるよう努めていく「ケアマネジャーの質の向上」の3つを掲げている。

二 感染症対策について

問 市民から带状疱疹ワクチンを接種したいが高額で接種できないと相談があった。本市では带状疱疹ワクチンの助成を現在行っており、助成が必要と思うがどうか。

答 現在、厚生労働省の厚生科学審議会において、ワクチンの効果

利用者の増加につながる。表丹沢魅力づくり構想を踏まえ、交通事業者との連携で本市の魅力創出に取り組んでほしい。



交通事業者との連携を



地域包括ケアシステムの中心的役割を担う地域高齢者支援センター

の持続性や発症頻度などから、導入に最適な対象年齢、期待される効果、安全性など、定期接種化に向けた議論が行われている。带状疱疹ワクチンの予防接種が、定期の予防接種の対象とされるか注視していききたい。

要望 国の動向も大事だが、市民のために带状疱疹ワクチンの助成を検討してほしい。

伊藤大輔議員の一般質問において、執行部への侮辱発言などの※不穏当な発言があり、市議会における言論の品位に欠けると判断し、秦野市議会会議規則の規定により議長が発言を取り消しました。これを受け、自身の主張を正確に表現するためには削除された発言部分が不可欠であるとの申し出があり、一般質問の記事の掲載を見送りました。

秦野市議会議員政治倫理審査会の審査結果について

秦野市議会では、市民に信頼される民主的な市政の発展に貢献することを目的に「秦野市議会議員政治倫理規程」を制定し、議員の責務を定めています。令和3年9月2日、議員8名により同規程に基づく調査請求書が提出されたことから、議長の指名により9人の委員で構成する「秦野市議会議員政治倫理審査会」が設置され、6回にわたる審査を行い、4年1月12日に同審査会から議長へ結果の報告を行いました。

- 《調査請求内容》
- 今井実議員：平成23年4月のおおね公園内の売店の管理許可と施設使用料の減免に係る覚書締結の際、当事者の代表であったが、市職員の公正な職務執行を妨げるなどの働きかけをした事実があるのか
 - 吉村慶一議員：上記の覚書締結は秦野市都市公園条例などに違反すると主張し、締結に関わった今井議員に対し、個別に議長職の辞職要求を行い、また、条例違反が存在したと誤解されかねない意見を地方紙などに掲載した行為について

《審査会からの結果報告》
現在、係争中であることから、現段階ではそれぞれの議員が政治倫理規程に違反しているのか判断を控えることとし、措置は行わない

上記の審査結果を受け、議長からは特段の措置は行わないこととしましたが、吉村議員に対しては、個別に議長職の辞職を求めたことなどは行き過ぎた行為であるとして、文書による注意を行いました。

※ここに記載した内容は、その一部を抜粋し要約したものです。詳しくはこちら



議会の動向

○11月

- 11日(木)・第8回議会報告会(文教福祉常任委員会所管)
- 12日(金)・第8回議会報告会(環境都市常任委員会所管)
- 16日(火)・代表者会議・議員連絡会
- ・議会運営委員会・政治倫理審査会
- 18日(木)・定例会議案送付
- 20日(土)・第8回議会報告会(総務常任委員会所管)
- 22日(月)・議会運営委員会
- 25日(木)・市議会第4回定例会開会【傍聴者数1人】
- 29日(月)・本会議(議案審議)・代表者会議
- ・議会運営委員会

○12月

- 1日(水)・総務常任委員会【傍聴者数1人】
- ・予算決算常任委員会(総務分科会)【傍聴者数1人】
- 2日(木)・文教福祉常任委員会【傍聴者数2人】
- ・予算決算常任委員会(文教福祉分科会)
- 3日(金)・環境都市常任委員会【傍聴者数1人】
- ・予算決算常任委員会(環境都市分科会)
- 7日(火)・本会議(一般質問)【傍聴者数27人】
- 8日(水)・本会議(一般質問)【傍聴者数6人】
- 9日(木)・本会議(一般質問)【傍聴者数25人】
- ・政治倫理審査会・定例会追加議案送付
- 14日(火)・議会運営委員会・予算決算常任委員会
- ・市議会第4回定例会閉会【傍聴者数3人】
- ・議会運営委員会【傍聴者数1人】
- ・議会報編集委員会
- 17日(金)・臨時会議案送付
- 20日(月)・政治倫理審査会
- 21日(火)・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第4回定例会
- ・議会運営委員会・臨時議員連絡会
- ・市議会第2回臨時会

○1月

- 5日(水)・政治倫理審査会
- 14日(金)・代表者会議・議員連絡会
- ・総務常任委員会・文教福祉常任委員会
- ・環境都市常任委員会・議会運営委員会
- ・議会報編集委員会
- 31日(月)・議会報編集委員会

オンラインでの所管事務調査を実施しました。

新型コロナウイルスの感染拡大のため、各委員会の所管事務調査について、オンラインに切り替えて実施しました。

	議会運営委員会 (1月27日)	議会改革などの取り組み(議会改革の歩みと議会運営サイクル)について(岐阜県可児市)
	総務常任委員会 (2月1日)	地域自治・コミュニティ活性化の取り組みについて(大阪府豊中市)
	文教福祉常任委員会 (2月2日)	在宅介護総合特区(AAAシティおかやま)について(岡山県岡山市)

※環境都市常任委員会は視察先によるオンラインでの対応ができず、実施を見送りました。

用語解説

※不穏当な発言…意見や批判の発表に必要な限度を超えて議員その他の関係者の正常な感情を害するような無礼の言葉など、一切の不適切な発言のこと